



「土壌汚染状況調査・対策」に関する実態調査結果（平成22年度）

別添資料

目 的 : 本調査は、(社)土壌環境センター会員企業が受注した土壌汚染状況調査・対策工事の実態を統計資料としてとりまとめ、土壌汚染対策事業の推移を把握すること等を目的とする。

調査対象 : (社)土壌環境センター 会員企業140社 (回答は無記名)

I. 調査結果の概要

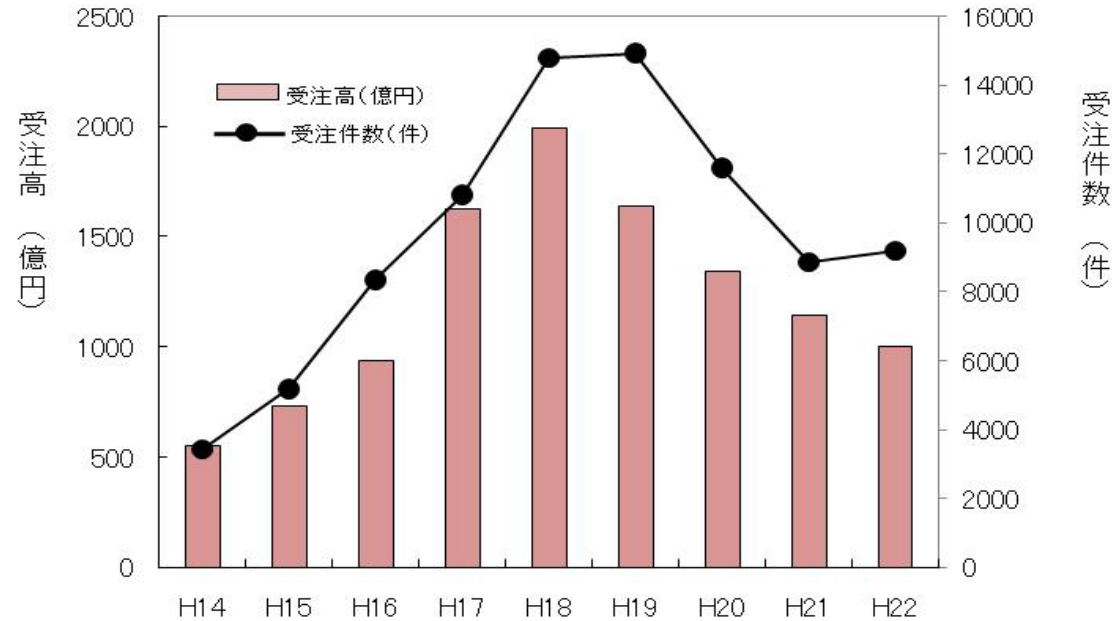
調査結果中の受注件数および受注高は、下表に示すとおり。(詳細は、II項参照)

対象年度	対象企業数(社)	回答企業数(社)	調 査 結 果				
			項 目	受注件数(件)	受注高(億円)		
今回調査分 平成二十二年 度	140	113 内 受注実績 有り 100	調査	法契機 法第3条契機の調査	132	5	
				法契機 法第4条契機の調査	285	16	
				法契機 法第5条契機の調査	0	0	
				上記外 条例・要綱契機の調査	602	15	
				上記外 自主調査	5,987	78	
					小計	7,006	114
			対策	法契機 要措置区域の対策	19	53	
				法契機 形質変更時要届出区域の対策	89	93	
				上記外 条例・要綱契機の対策	213	169	
				上記外 自主対策	1,850	573	
	小計	2,171		888			
		合計	9,177	1,002			
(参考) 昨年調査分 平成二十一 年度	155	131 内 受注実績 有り 109	調査	法第3条、第4条契機の調査	133	6	
				上記外 条例・要綱契機の調査	614	14	
				上記外 自主調査	5,605	80	
					小計	6,352	100
			対策	法第3条、第4条契機の対策	64	49	
				上記外 条例・要綱契機の対策	336	208	
				上記外 自主対策	2,106	789	
	小計	2,506		1,046			
		合計	8,858	1,146			

(注記) 1. 受注件数、受注高共に「元請」ベースの値である。



受注件数、受注高の推移

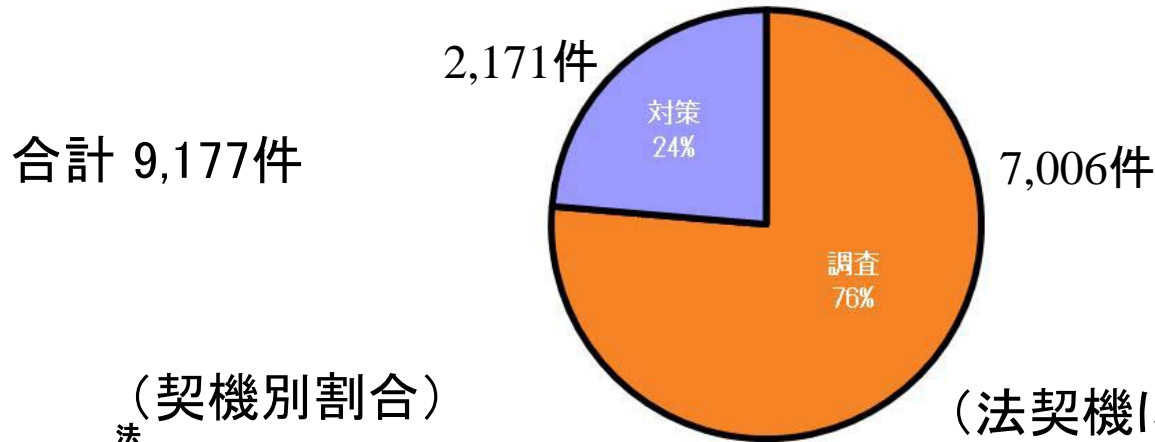


		H14年度	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
対象企業数 (社)		188	188	183	183	171	166	162	155	140
受注実績のある企業数 (社)		97	109	106	131	116	100	121	109	100
受注件数 (件)	調査	2,731	4,281	6,480	9,044	12,434	12,426	8,736	6,352	7,006
	対策	693	897	1,869	1,768	2,356	2,498	2,855	2,506	2,171
	計	3,424	5,178	8,349	10,812	14,790	14,924	11,591	8,858	9,177
受注高 (億円)	調査	79	128	172	180	191	183	150	100	114
	対策	474	601	763	1,444	1,802	1,458	1,195	1,046	888
	計	553	729	935	1,624	1,993	1,641	1,345	1,146	1,002

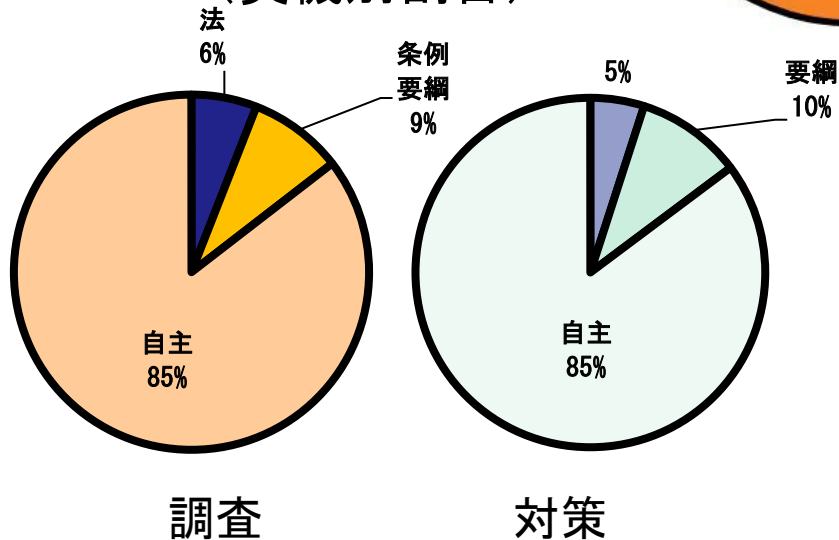
「土壌汚染状況調査・対策」に関する実態調査結果（平成22年度）



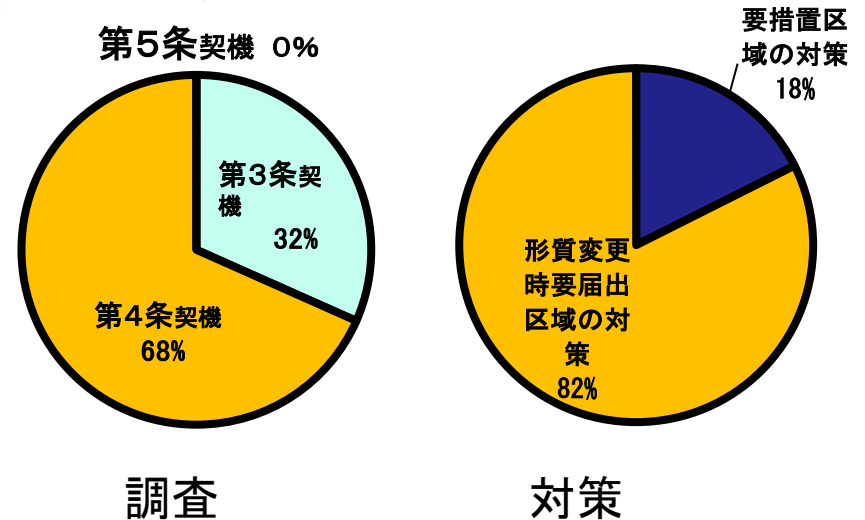
受注件数



(契機別割合)



(法契機における条項別等割合)

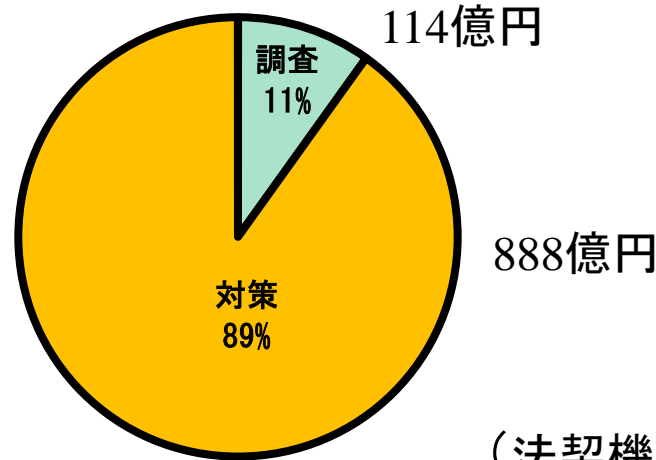


「土壌汚染状況調査・対策」に関する実態調査結果（平成22年度）



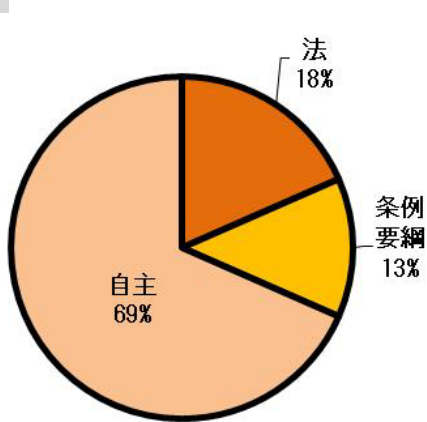
受注高

合計 1,002億円

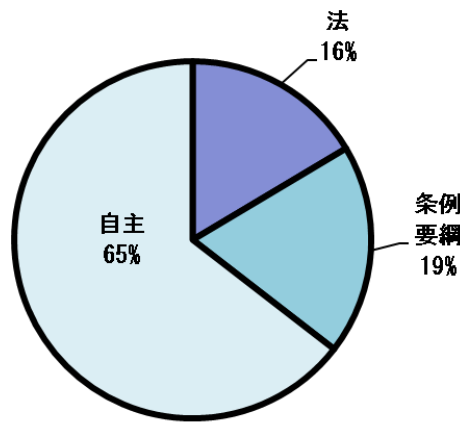


（契機別割合）

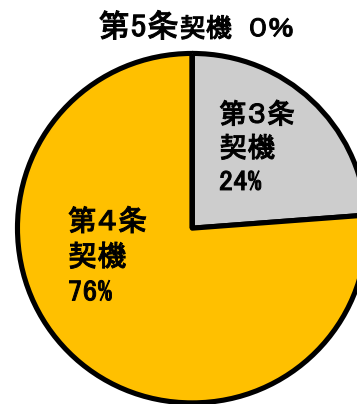
（法契機における条項別等割合）



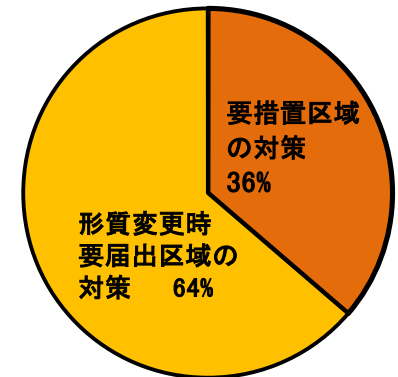
調査



対策



調査



対策



Ⅱ. 調査結果の詳細 目次

（目 次）

1. 法契機の調査	P6
1.1 受注件数と受注高	P6
1.2 汚染の有無、汚染物質の種類別受注件数と指定された区域	P7
2. 指定された区域における対策	P8
2.1 受注件数と受注高	P8
2.2 汚染物質の種類別受注件数	P9
2.3 措置の種類別受注件数	P10
3. 法契機以外による調査	P11
3.1 受注件数と受注高	P11
3.2 汚染の有無、汚染物質の種類別受注件数と法第14条の指定申請件数	P12
3.3 自主調査を行った契機	P13
4. 法契機以外による対策	P14
4.1 受注件数と受注高	P14
4.2 汚染物質の種類別受注件数	P15
4.3 措置の種類別受注件数	P16
4.4 自主対策を行った契機	P17
【参考資料】	P18

「土壌汚染状況調査・対策」に関する実態調査結果（平成22年度）



1. 法契機の調査

1.1 受注件数と受注高

1. 法契機の調査

土壌汚染対策法（以下、法という）の第3条、第4条、および第5条が契機の調査に関するもの。

- 法第3条契機の調査： 法第3条（有害物質使用特定施設の廃止時に土壌汚染状況調査の実施を課せられている）の調査義務が契機となった、結果の報告義務が伴う調査。
- 法第4条契機の調査： 法第4条（3000m²以上の土地の形質変更は届け出が義務づけられており、都道府県知事は届け出を受けた土地が汚染されているおそれがあると認めるときに、調査を命ずることができる。）の調査命令が契機となった調査。
- 法第5条契機の調査： 法第5条（土壌汚染により人の健康被害が生ずるおそれがあると認める時に、都道府県知事は土壌汚染状況調査の実施を命令することができる）の調査命令が契機となった調査。

1.1 受注件数と受注高

		調査種類	条項別受注件数・受注高			受注件数回答 企業数 (社)	受注高 回答企業数 (社)
			受注件数 (件)	受注高 (億円)	(参考)受注件数の内、地歴調 査のみの件数 (件)		
今回調査分	平成 二十 二 年 度	法第3条契機の調査	132	5	24	38	61
		法第4条契機の調査	285	16	105	54	
		法第5条契機の調査	0	0	0	0	
		合計	417	21	129		
昨年 調査分 (参考)	平成 二十 一 年 度	法第3条・4条契機の調査	133	6		35	35

(注) 1. 法14条の指定の申請等のために実施した調査は、「法契機」の調査ではなく「自主調査」としてカウントした。

1.2 汚染の有無、汚染物質の種類別受注件数と指定された区域

1.2 汚染の有無、汚染物質の種類別受注件数と指定された区域

		受注件数		汚染物質別受注件数（件）（複数回答あり）			調査の結果指定された区域（件）		
		汚染の有無	受注件数（件）	第1種特定有害物質による汚染	第2種特定有害物質による汚染	第3種特定有害物質による汚染	要措置区域	形質変更時 要届出区域	手続き中 その他
今回調査分	平成二十二年 度	汚染あり	168	56	167	11	25	101	42
		汚染なし	112	/					
		調査中・不明	8						
		(地歴調査のみ)	129						
		合計	417						
昨年 （参考） 調査分	平成二十一年 度	汚染あり	89	18	80	2	/		
		汚染なし	41						
		調査中	3						
		合計	133						

（注）1. 「地歴調査のみ」の場合は、汚染の有無判定の対象外とした。

2. 複数回答 ; 1件の調査において2種類の汚染物質があった場合は、それぞれ1件ずつとしてカウントした。



2. 指定された区域における対策 2.1 受注件数と受注高

2. 指定された区域における対策

土壌が汚染状態に関する基準に不適合の場合は、次のいずれかの区域に指定される。

要措置区域 : 土壌汚染の摂取経路があり、健康被害が生ずるおそれがあるため
汚染の除去等の措置が必要な区域

形質変更時要届出区域 : 土壌汚染の摂取経路がなく、健康被害が生ずるおそれがないため、
汚染の除去等の措置が必要な区域除去等の措置が不要な区域
(摂取経路の遮断が行われた区域を含む。)

2.1 受注件数と受注高

		指定された区域の種類	区域別受注件数・受注高		受注件数 回答企業数 (社)	受注高 回答企業数 (社)
			受注件数 (件)	受注高 (億円)		
今回調査分	平成二十二年 度	要措置区域の対策	19	53	10	10
		形質変更時要届出区域の対策	89	93	28	27
		合計	108	146		
昨年(参考) 調査分	平成二十一年 度	法第3条・4条契機の対策	48	60	21	21



2.2 汚染物質の種類別受注件数

2.2 汚染物質の種類別受注件数

		項目	汚染物質別受注件数（件） （複数回答あり）			2.1項の受注件数 （件）
			第1種特定有害 物質による汚染	第2種特定有害 物質による汚染	第3種特定有害 物質による汚染	
今回 調査分	平成 二十二 年度	指定された区域の対策	34	85	0	108
昨 年 調査分 （参 考）	平成 二十一 年度	法第3条・4条契機の対策	22	29	0	48

（注）1. 複数種類の回答：1件の対策において2種類以上の汚染物質を対象とした場合は、それぞれ1件ずつとしてカウントした。

「土壌汚染状況調査・対策」に関する実態調査結果（平成22年度）



2.3 措置の種類別受注件数

2.3 措置の種類別受注件数

	項目	地下水の水質測定(件)	地下水汚染の拡大の防止(件)	掘削を伴う措置(件)			掘削を伴わない措置(件)			措置後の地下水モニタリング(件)	2.1項の受注件数(件)
				掘削場外搬出	場外搬出を伴わない措置		原位置浄化	原位置封じ込め/不溶化	その他		
					区域内浄化	それ以外					
今回調査分	平成二十二年 度	7	8	87	3	0	19	4	1	18	108
（参考） 分 昨年調査	平成二十一年 度										48

(注) 1. 複数回答 ; 1件の対策において複数種類の措置を実施した場合は、それぞれ1件ずつとしてカウントした。

2. 措置の区分と具体的工法

措置の区分		具体的な工法	
地下水の水質の測定		他の措置を行わず「地下水の水質の測定」のみの場合	
地下水汚染の拡大の防止		地下水揚水、透過性地下水浄化壁等	
掘削を伴う措置	掘削場外搬出	掘削除去場外処分(汚染土壌処理施設での処理)、区域外土壌入換え	
	場外搬出を伴わない措置	区域内浄化	熱処理、洗浄処理、化学分解、生物処理等
		それ以外	不溶化埋め戻し、遮水工封じ込め、遮断工封じ込め、区域内土壌入換え、不溶化、固化等
掘削を伴わない措置	原位置浄化	原位置抽出(土壌ガス吸引、地下水揚水、エアスパージング)、原位置分解(化学処理、生物処理)、原位置洗浄等	
	原位置封じ込め/不溶化	原位置封じ込め、原位置不溶化等	
	その他	盛土、舗装、立入禁止、その他	
措置後の地下水モニタリング		-	



3. 法契機以外による調査

3. 1 受注件数と受注高

3. 1 受注件数と受注高

		調査種類	条項別受注件数・受注高			受注件数 回答企業数 (社)	受注高 回答企業数 (社)
			受注件数 (件)	受注高 (億円)	(参考)受注件数の内、地 歴調査のみの件数 (件)		
今回調査分	平成 二十 二 年 度	条例・要綱契機の調査	602	15	157	75	75
		自主調査	5,987	78	2,471		
		合計	6,589	93	2,628		
昨年 (参考) 調査分	平成 二十 一 年 度	条例・要綱契機の調査	614	14	113	108	108
		自主調査	5,605	80	2,219		
		合計	6,219	94	2,332		

「土壌汚染状況調査・対策」に関する実態調査結果（平成22年度）



3. 2汚染の有無、汚染物質の種類別受注件数と法第14条の指定申請件数

3. 2 汚染の有無、汚染物質の種類別受注件数と法第14条の指定申請件数

	調査種類	受注件数		汚染物質別受注件数（件） （複数回答あり）						法第14条の指定の申請が行われた件数（件）	
		汚染の有無	受注件数（件）	第1種特定有害物質による汚染	第2種特定有害物質による汚染	第3種特定有害物質による汚染	油類による汚染	ダイオキシンによる汚染	その他		
今回調査分	平成二十二年 度	条例・要綱契機の調査	汚染あり	234	80	196	7	26	1	0	7
			汚染なし	191							
			調査中・不明	20							
			(地歴調査のみ)	157							
			合計	602							
自主調査	汚染あり	1,562	529	1,117	68	288	26	14	12		
	汚染なし	1,963									
	調査中・不明	29									
	(地歴調査のみ)	2,433									
	合計	5,987									
昨年調査分 (参考)	平成二十一年 度	条例・要綱契機の調査 および 自主調査	汚染あり	1,774	638	1,222	43	281	42		
			汚染なし	1,881							
			調査中・不明	232							
			(資料等調査のみ)	2,332							
			合計	6,219							

(注) 1. 「地歴調査のみ」および「資料等調査のみ」の場合は、汚染の有無判定の対象外とした。

2. 複数種類の回答 ; 1件の調査において2種類以上の汚染物質があった場合は、それぞれ1件ずつとしてカウントした。



3.3 自主調査を行った契機

3.3 自主調査を行った契機

		契機別受注件数（件） （複数回答あり）						3.1項の自主 調査件数 （件）
		土地売買	土地改変	土地資産評価	ISO、事故、自 主的環境調査	その他	不明	
今回 調査分	平成22年度	3,142	547	628	900	191	618	5,987
昨年 （参考） 調査分	平成21年度	2,913	421	420	932	467	187	5,605

（注）1. 複数回答 ; 1件の調査において複数の契機があった場合は、それぞれ1件ずつとしてカウントした。



4. 法契機以外による対策 4. 1 受注件数と受注高

4. 1 受注件数と受注高

		項目	受注件数 (件)	受注高 (億円)	受注件数 回答企業数 (社)	受注高 回答企業数 (社)
今回調査分	平成二十二年 度	条例・要綱契機の対策	213	169	40	40
		自主対策	1,850	573	79	78
		合計	2,063	742		
(参考) 昨年調査分	平成二十一 年度	条例・要綱契機の対策	336	208	55	55
		自主対策	2,106	789	85	85
		合計	2,442	997		

「土壌汚染状況調査・対策」に関する実態調査結果（平成22年度）



4.2 汚染物質の種類別受注件数

4.2 汚染物質の種類別受注件数

調査分	年度	項目	汚染物質別受注件数（件） （複数回答あり）					4.1項の 受注件数 （件）	回答 企業数 （社）	
			第1種特定有害 物質による汚染	第2種特定有害 物質による汚染	第3種特定有害 物質による汚染	油類による 汚染	ダイオキシンに よる汚染			その他
今回	平成二十二年	条例・要綱契機の対策	100	136	1	17	0	3	213	39
		自主対策	1,000	738	45	343	35	35	1,850	79
昨年 （参考）	平成二十一年	条例・要綱契機の対策	129	248	6	12	2	2	336	55
		自主対策	929	874	47	340	23	112	2,106	85

（注） 1. 複数種別の回答；1件の対策において2種類以上の汚染物質を対象とした場合は、それぞれ1件ずつとしてカウントした。

「土壌汚染状況調査・対策」に関する実態調査結果（平成22年度）



4.3 措置の種類別受注件数

4.3 措置の種類別受注件数

(複数回答あり)

	項目	地下水の水質測定 (件)	地下水汚染の拡大の防止 (件)	掘削を伴う措置 (件)			掘削を伴わない措置 (件)			措置後の地下水モニタリング (件)	4.1項の受注件数 (件)	回答企業数 (社)
				掘削場外搬出	場外搬出を伴わない措置 区域内浄化	それ以外	原位置浄化	原位置封じ込め/不溶化	その他			
今回調査分	平成二十二年 度 条例・要綱契機 の対策	36	26	109	4	0	49	3	4	31	213	39
	自主対策	248	405	596	27	5	432	37	20	446	1,850	78
	合計	284	431	705	31	5	481	40	24	477	2,063	
昨年調査分 (参考)	平成二十一年 度 条例・要綱契機 の対策										336	55
	自主対策										2,106	85
	合計										2,442	

- (注) 1. 複数回答 ; 1件の対策において複数種類の措置を実施した場合は、それぞれ1件ずつとしてカウントした。
2. 措置の区分と具体的工法

措置の区分	具体的な工法	
地下水の水質の測定	他の措置を行わず「地下水の水質の測定」のみの場合	
地下水汚染の拡大の防止	地下水揚水、透過性地下水浄化壁等	
掘削を伴う措置	掘削除去場外処分(汚染土壌処理施設での処理)、区域外土壌入換え	
	掘削場外搬出 区域内浄化	熱処理、洗浄処理、化学分解、生物処理等
	場外搬出を伴わない措置 それ以外	不溶化埋め戻し、遮水工封じ込め、遮断工封じ込め、区域内土壌入換え、不溶化、固化等
掘削を伴わない措置	原位置浄化	原位置抽出(土壌ガス吸引、地下水揚水、エアスパージング)、原位置分解(化学処理、生物処理)、原位置洗浄等
	原位置封じ込め/不溶化	原位置封じ込め、原位置不溶化等
	その他	盛土、舗装、立入禁止、その他
措置後の地下水モニタリング	-	

「土壌汚染状況調査・対策」に関する実態調査結果（平成22年度）



4.4 自主対策を行った契機

4.4 自主対策を行った契機

		契機別受注件数（件） （複数回答あり）						4.1. 項の自主 対策受注件数 （件）	回答企業数 （社）
		土地売買	土地改変	土地資産評価	ISO, 事故、 自主的環境調査	その他	不明		
今回調査分	平成22年度	421	262	55	1,029	49	66	1,850	78
昨年調査分 （参考）	平成21年度	497	209	46	1,024	130	211	2,106	84

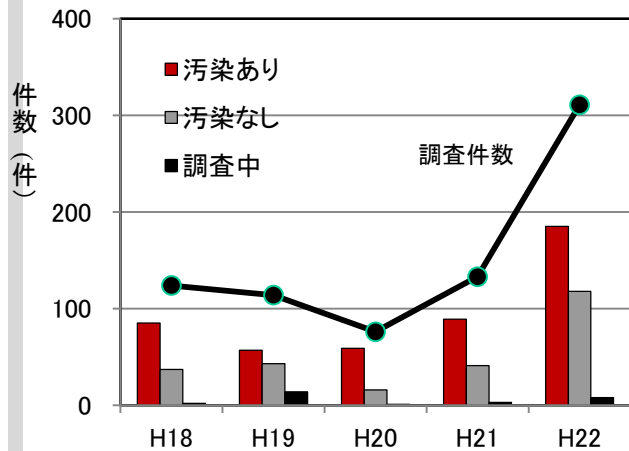
（注）1. 複数種別の回答：1件の対策において2種類以上の契機があった場合は、それぞれ1件ずつとしてカウントした。

「土壌汚染状況調査・対策」に関する実態調査結果（平成22年度）

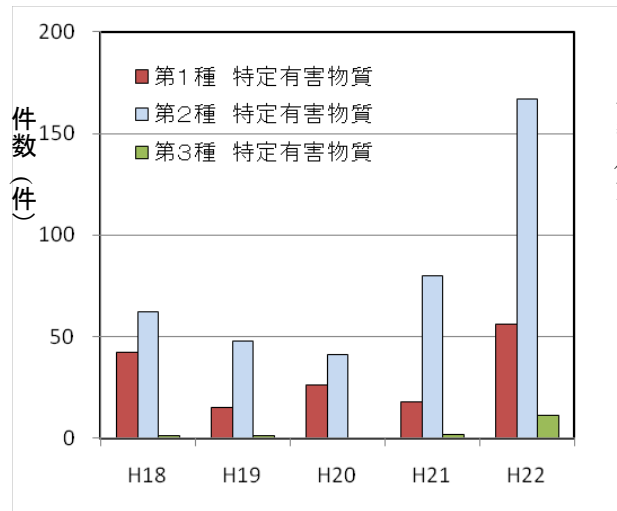


(参考資料)

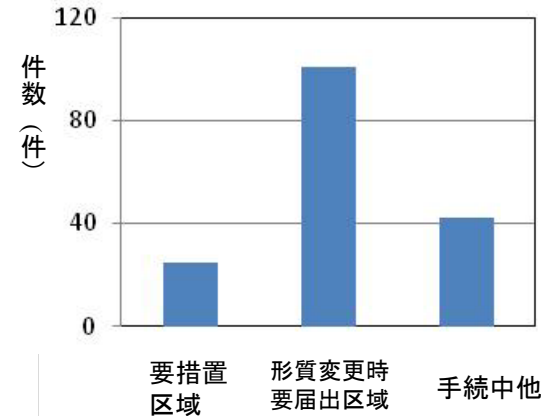
詳細1：法契機の調査



汚染の有無



汚染物質の種類別受注件数

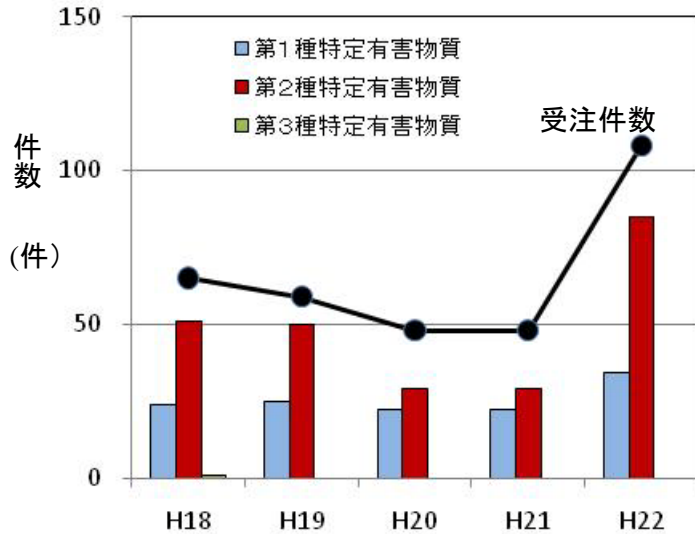


調査の結果指定された区域



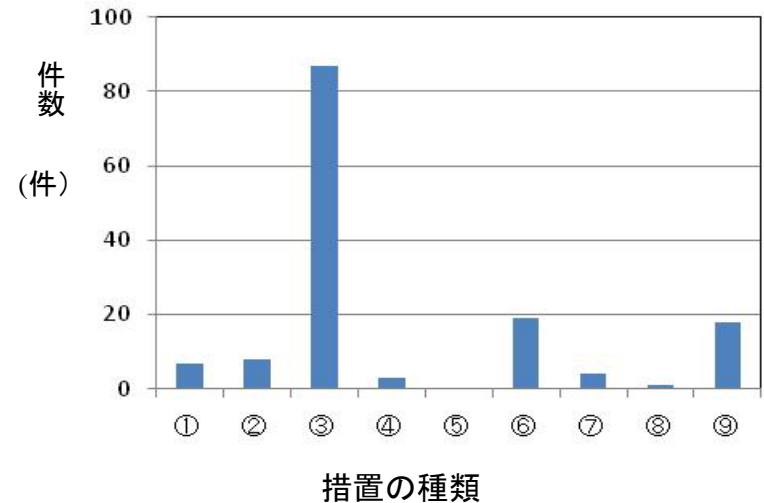
(参考資料)

詳細2：法契機の対策



汚染物質の種類別受注件数
(複数回答あり)

措置の種類		NO.
地下水の水質測定		①
地下水汚染の拡大防止		②
掘削を伴う措置	掘削場外搬出	③
	場外搬出を伴わない措置	④
	区域内浄化 それ以外	⑤
掘削を伴わない措置	原位置浄化	⑥
	原位置封じ込め/不溶化	⑦
	その他	⑧
措置後の地下水モニタリング		⑨

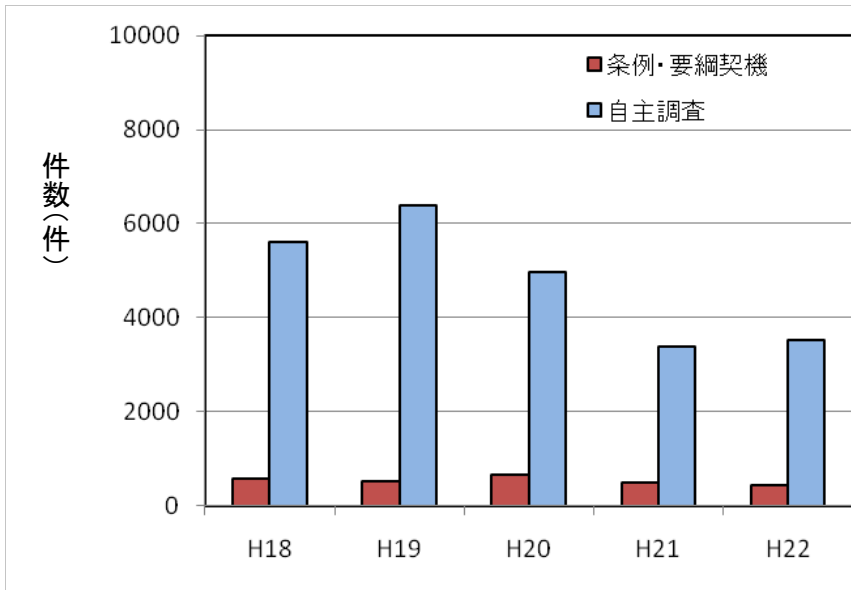


措置の種類別受注件数
(複数回答あり)

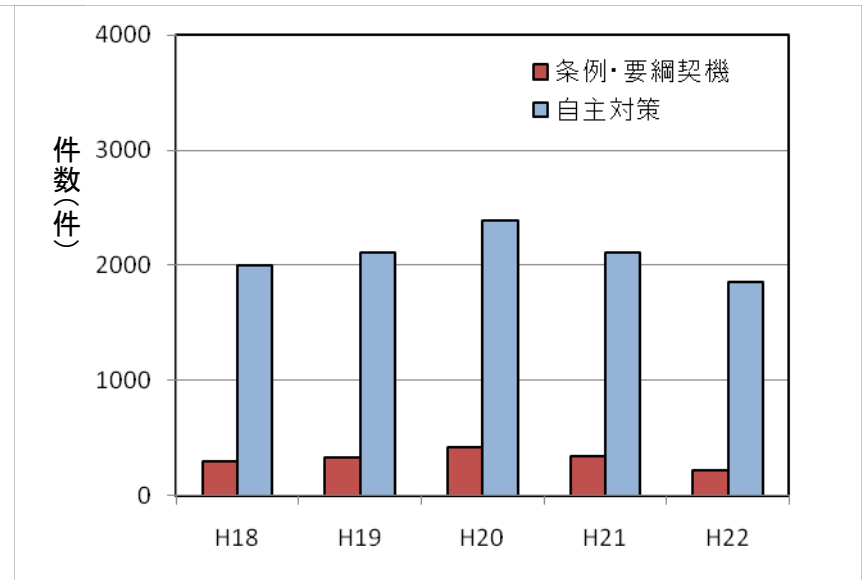


（参考資料）

詳細3：法契機以外の受注件数



調査の受注件数推移



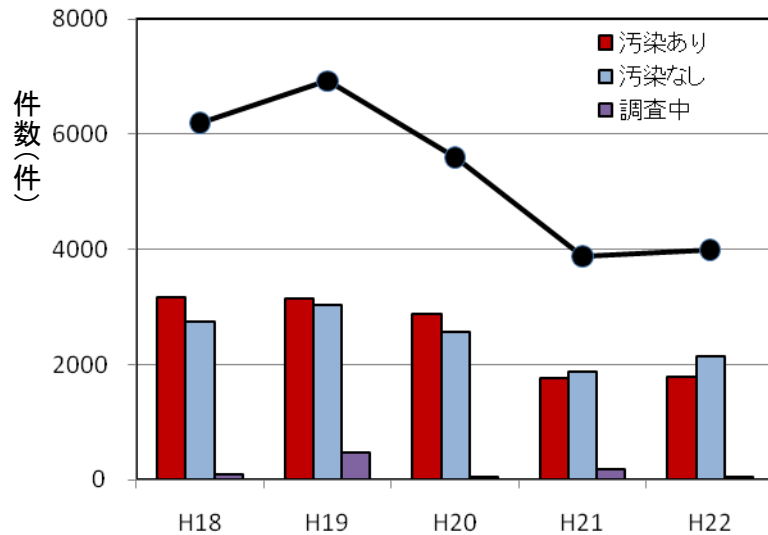
対策の受注件数推移

「土壌汚染状況調査・対策」に関する実態調査結果（平成22年度）

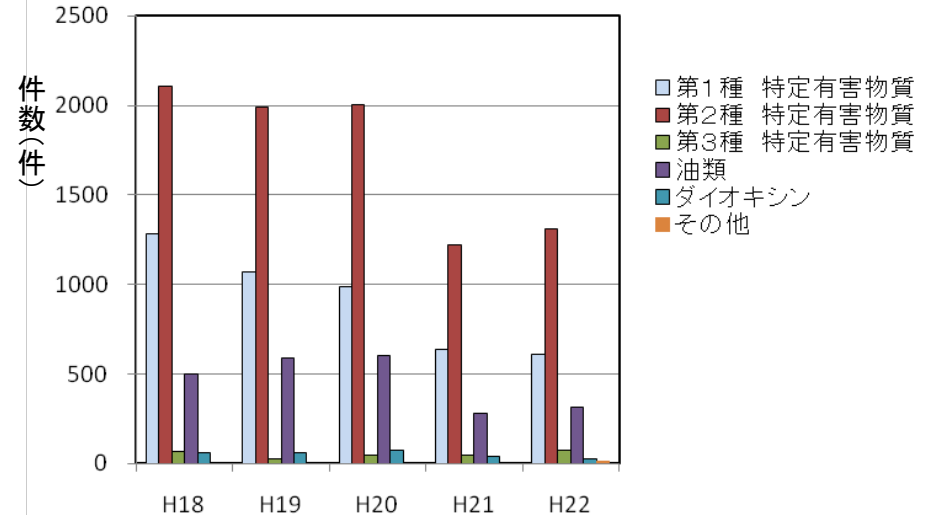


(参考資料)

詳細4：法契機以外による調査（地歴調査のみを除く）



汚染の有無



汚染物質の種類別受注件数

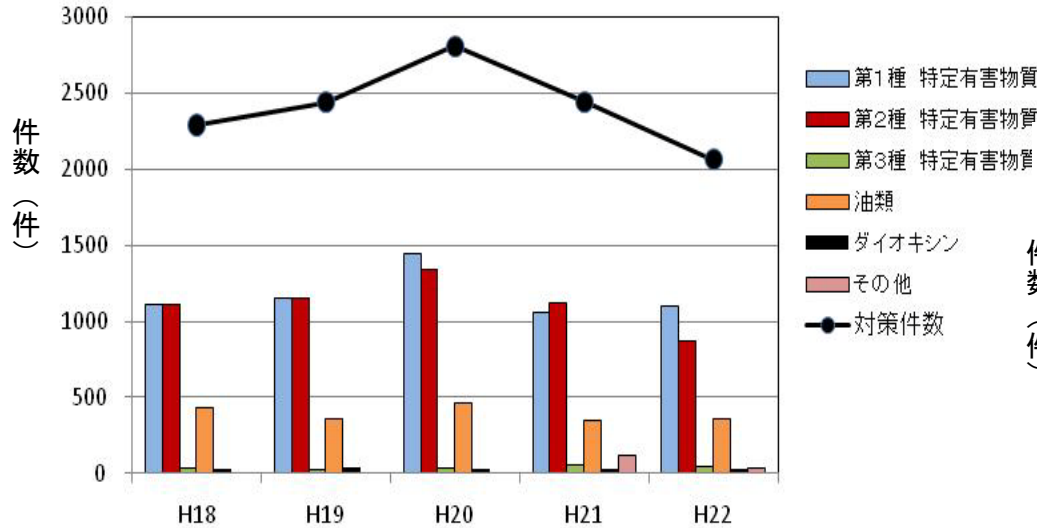
(複数回答あり)

「土壌汚染状況調査・対策」に関する実態調査結果（平成22年度）



（参考資料）

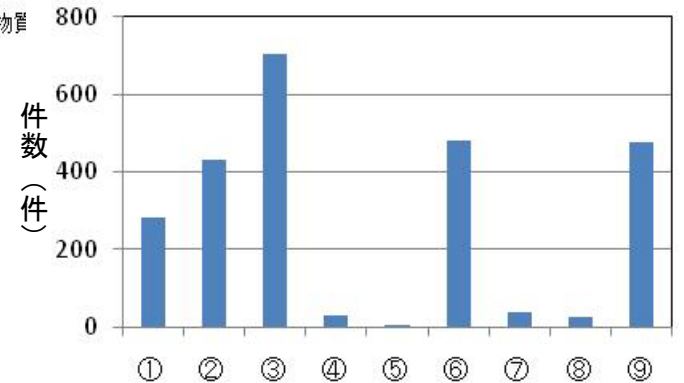
詳細5：法契機以外による対策



汚染物質の種類別受注件数

（複数回答あり）

措置の種類		NO.
地下水の水質測定		①
地下水汚染の拡大防止		②
掘削を伴う措置	掘削場外搬出	③
	場外搬出を伴わない措置	④
	区域内浄化 それ以外	⑤
掘削を伴わない措置	原位置浄化	⑥
	原位置封じ込め/不溶化	⑦
	その他	⑧
措置後の地下水モニタリング		⑨



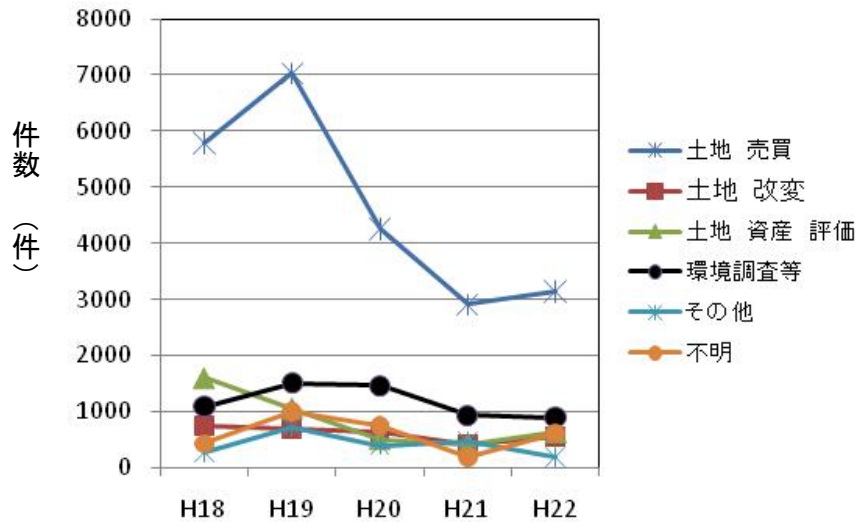
措置の種類別受注件数

（複数回答あり）

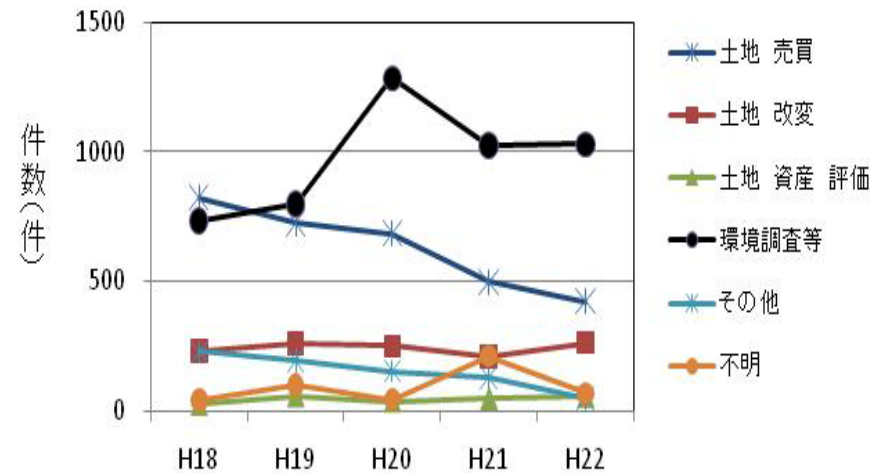


(参考資料)

詳細 6: 自主調査・対策を行った契機



自主調査の契機



自主対策の契機



（参考資料）

調査対象の母集団について

調査対象：（社）土壌環境センターの全会員。回答企業数等、下図の通り。

